



## ACCESS



### バス

【仙台駅前11番のりば】(仙台市営バス)  
靈屋橋経由八木山動物公園駅行  
東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

### 地下鉄東西線

「青葉通一番町」駅より徒歩8分(約600m)

### タクシー

仙台駅西口から約10分



### 東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

エクステンション教育研究棟 6階

TEL:022-217-6265 FAX:022-217-6266

E-Mail:rirc@grp.tohoku.ac.jp

<http://rirc.econ.tohoku.ac.jp/>

# Regional Innovation Research Center

東北大学大学院経済学研究科  
地域イノベーション研究センター

Graduate School of  
Economics and Management,  
Tohoku University

## Contents

### 【地域の調査研究】

東北発水産業イノベーションプロジェクト — 06 ~ 07

地域イノベーション研究センター長  
経済学研究科教授

藤本 雅彦



MESSAGE

イノベーションを通して地域社会に  
インパクトのある貢献に向けて

2011年3月の東日本大震災以降、政府による財政的支援に大きく依存してきた東北地域は、社会・経済の構造的な変革が求められています。中長期的な東北地域の発展のためには、新たな産業を育成し定着させるための地域企業による新たなビジネスモデルの革新が不可欠です。そのために、東北地域の「産・官・学・金」が連携して地域社会にインパクトのある政策とその実行が求められています。

地域イノベーション研究センターは、中長期的な視点から東北地域の経済・社会に関する調査研究を踏まえた様々な政策を提言するとともに、地域経済・社会をリードできる革新的な事業家である「地域イノベーションプロデューサー」とその支援者となる「地域イノベーションアドバイザー」を育成することによって、地域企業のイノベーションを促進し東北地域の発展に貢献したいと考えています。

【片平キャンパスとセンターの施設】 — 15  
【RIRCの主要活動】 — 16  
【RIRCの運営体制】 — 17

右腕幹部養成講座 — 12

卒塾後の重点支援 — 12

RIPS / RIAS OB会 — 13

地域との連携協力 — 14

# 東北の革新のために。 地域イノベーション研究センターの設立

## 設立の目的

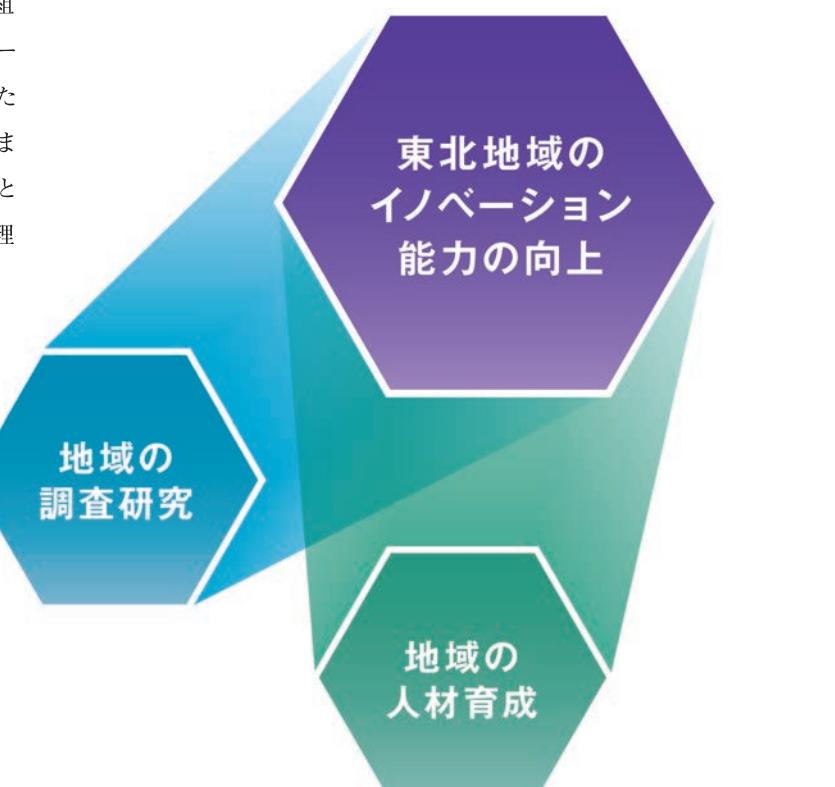
地域イノベーション研究センターは、経済学研究科内外の知的能力を組織的に結集して教育研究活動を行うことによって、東北地域のイノベーション能力の向上を図り、東北地域の産業振興と経済発展に貢献するために必要な諸事業の企画、実施および調整を行うことを目的とします。また、センターは本学および地域の企業、自治体、NPO 等の実務家たちと交流する場を提供することによって、地域の現実について強い関心と理解をもち地域发展への貢献意欲と能力をもつ人材を育成します。

## 事業内容

- 地域イノベーションに関する研究の推進
- 地域イノベーションに関する教育の推進
- 地域イノベーションを牽引する指導者的人材  
〔地域プロデューサー〕の育成
- 地域イノベーションに関する情報交流の推進
- 委託研究、寄附講座、共同研究の受入

## 活動実績

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
右腕幹部養成講座													▶
東北発水産業イノベーションプロジェクト													▶
地域イノベーションアドバイザー塾													▶
地域イノベーションプロデューサー塾													▶
地域産業復興調査研究プロジェクト													▶
地域発イノベーション調査研究プロジェクト													▶
農商工連携プロデューサー育成塾													▶
プロジェクト型教育研究プログラム													▶
インターンシッププログラム													▶



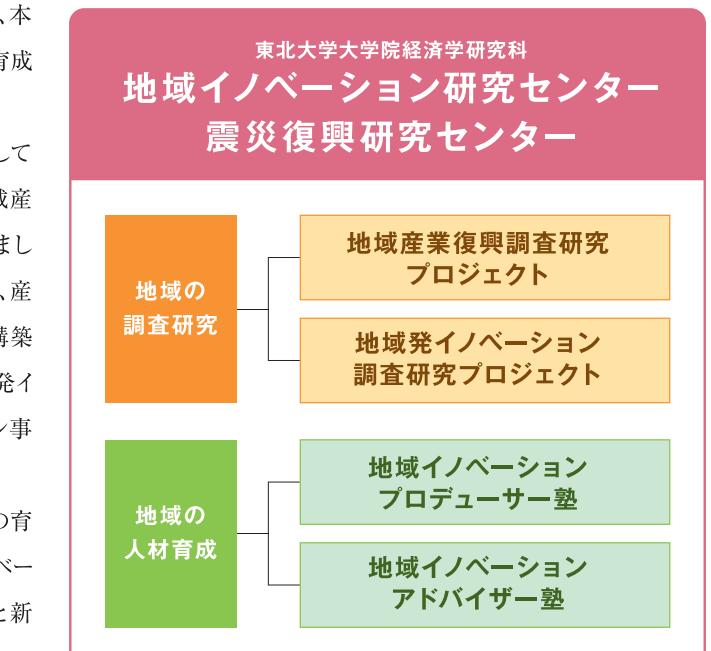
# 東日本大震災の発生、震災復興への貢献

当センターでは、東日本大震災の直後に震災復興研究センターを立ち上げ、本学の復興アクションと歩調を合わせながら調査研究とイノベーション人材育成に取り組んできました。調査研究については、本学および全国から100名を超える研究者を結集して「地域産業復興調査研究プロジェクト」を結成し、大きな被害を受けた地域産業の復興のための調査研究に取り組み、政策提言と情報発信を行ってきました。特に、被災地企業を対象とした大規模なアンケート調査を毎年実施し、産業および地域企業の復興状況を把握するとともに、地域の産業社会を再構築するための新たなモデルの構想や政策提言を行ってきました。また、「地域発イノベーション調査研究プロジェクト」を立ち上げ、地域企業のイノベーション事例を発掘し、イノベーションへの挑戦意識を高めきました。人材育成については、地域の中小企業の経営人材を対象に、イノベーターの育成、革新的な新事業の開発および事業化支援を一体的に行う「地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS)」を開講し、地域企業のイノベーション能力の向上と新事業創出および雇用創出に取り組んできました。

## 地域産業復興調査研究プロジェクト

調査研究の成果を書籍として刊行し、震災復興の現状と提言を発信しました。

- 第一卷 東日本大震災復興研究 I 東日本大震災からの地域経済復興への提言 被災地の大学として何を学び、伝え、創るのか 河北新報出版センター(2012年3月)
- 第二卷 東日本大震災復興研究 II 東北地域の産業・社会の復興と再生への提言 復興過程の現実に向き合い、地域の可能性を探る 河北新報出版センター(2013年3月)
- 第三卷 東日本大震災復興研究 III 震災復興政策の検証と新産業創出への提言 広域的かつ多様な課題を見据えながら「新たな地域モデル」を目指す 河北新報出版センター(2014年3月)
- 第四卷 東日本大震災復興研究 IV 新しいフェーズを迎える東北復興への提言 「創造的復興」は果たせるか、4年目のレビュー 南北社(2015年3月)
- 第五卷 東日本大震災復興研究 V 震災復興は東北をどう変えたか 震災前の構造的問題、震災から5年目の課題、これからの中の新たな可能性 南北社(2016年3月)



## 地域発イノベーション調査研究プロジェクト

調査研究の成果を書籍として刊行し、イノベーションへの挑戦意欲の向上をはかりました。

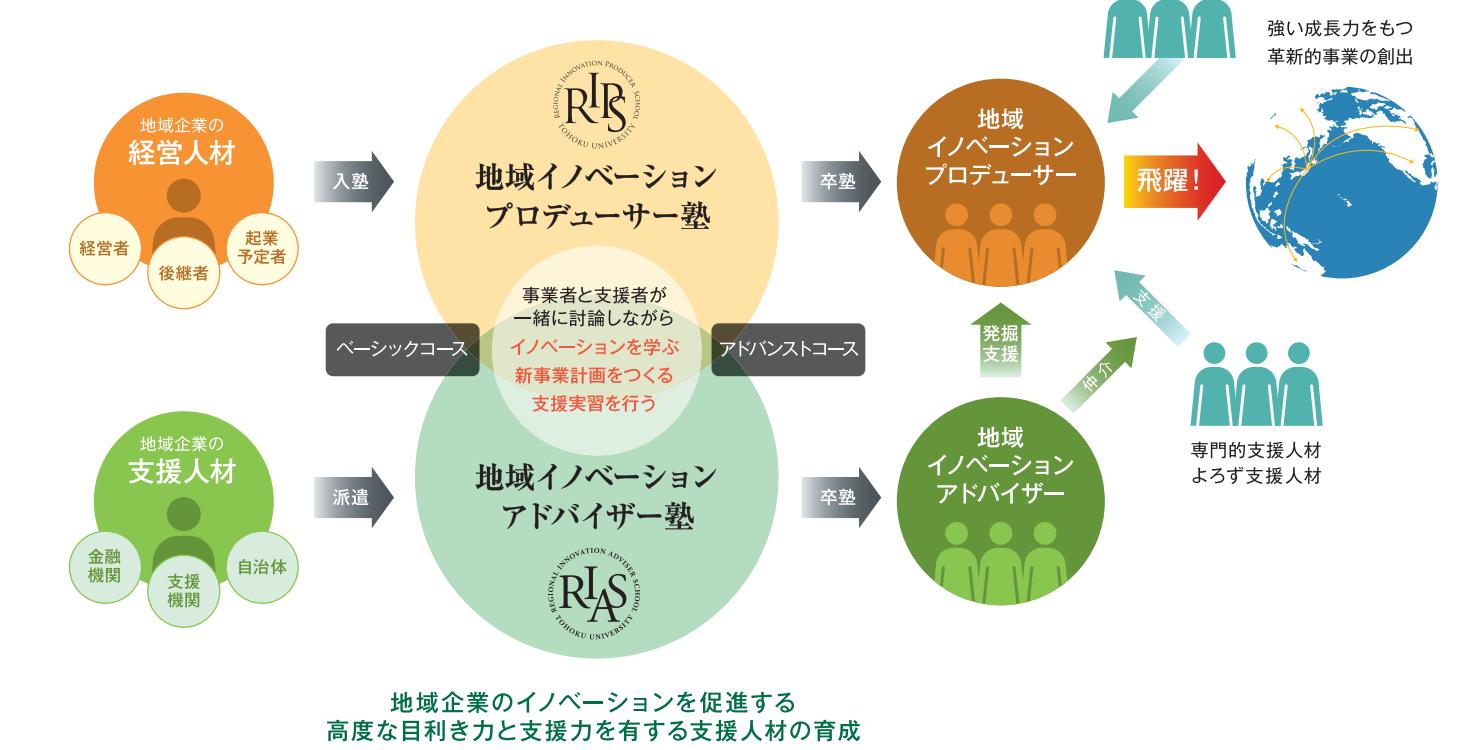
- 第一卷 地域発イノベーション I 東北からの挑戦 河北新報出版センター(2012年3月)
- 第二卷 地域発イノベーション II 東北企業の資源発掘・展開・発展 河北新報出版センター(2013年3月)
- 第三卷 地域発イノベーション III 震災からの復興・東北の底力 河北新報出版センター(2014年2月)
- 第四卷 地域発イノベーション IV 常識への挑戦 南北社(2015年2月)
- 第五卷 地域発イノベーション V 東北から世界への挑戦 南北社(2016年1月)

# 東北創生に向けて、飛躍のための新しい挑戦

(東北発水産業イノベーションプロジェクト)

当センターは、これまでの震災復興のために取り組んできた諸事業の成果を踏まえ、2016年度より新しい東北づくりに向けて「飛躍のための新しい挑戦」に取り組んでいます。調査研究については、地域社会にインパクトを与えるための調査研究事業として、2016年度から5年間にわたって東北の水産業(特に水産加工業)のイノベーションに挑戦する「東北発水産業イノベーションプロジェクト」に取り組んでいます。本プロジェクトの大きな特徴は、実際に地域水産業の変革にとって大きなインパクトを生み出すために実効性の高い戦略と行動を計画実行し、その効果を継続的に検証していくことです。人材育成については、これまで取り組んできた「地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS)」のほかに、地域の金融機関や支援機関等の職員を対象にして、地域企業のイノベーション活動を高度な目利き力と支援力を有して支援できる人材を育成するための「地域イノベーションアドバイザー塾(RIAS)」を開講しています。RIPSとRIASは、事業者と支援者が共同でイノベーションのための基礎知識と新事業開発の実習を行いながら、一緒に発想し討論し気づきを共有するといった、従来とは大きく異なる人材育成の仕組みです。さらに2017年度からRIPS卒塾者の経営する企業において経営戦略や事業計画の企画および実行を経営者と一体となって遂行できる人材(右腕人材)を育成する「右腕幹部養成講座」を開講しています。

イノベーション・プロデューサーの育成  
革新的な新事業の開発および卒塾後の事業化支援を一体化



# 地域社会にインパクトを与えるための調査研究 東北発水産業イノベーションプロジェクト

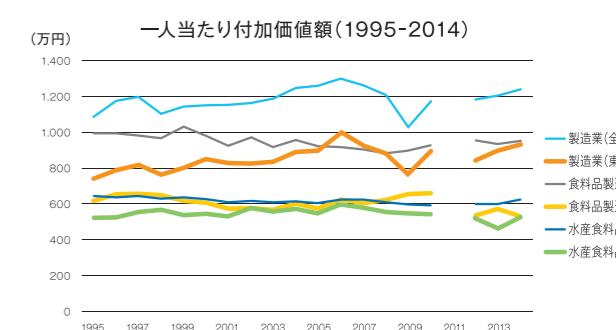
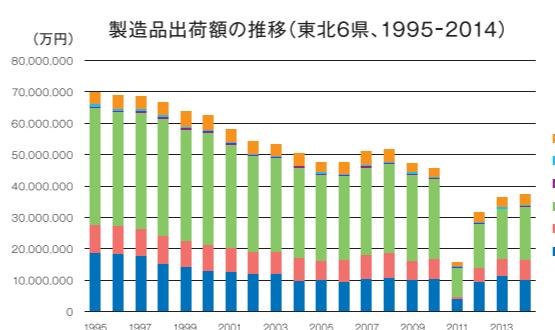
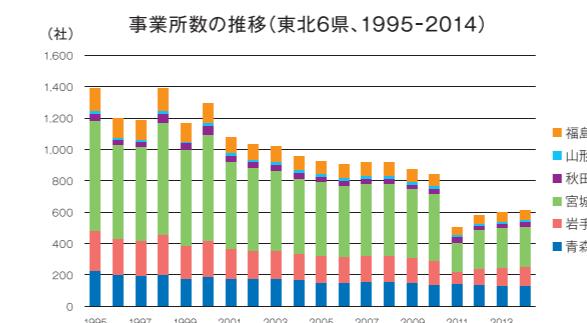
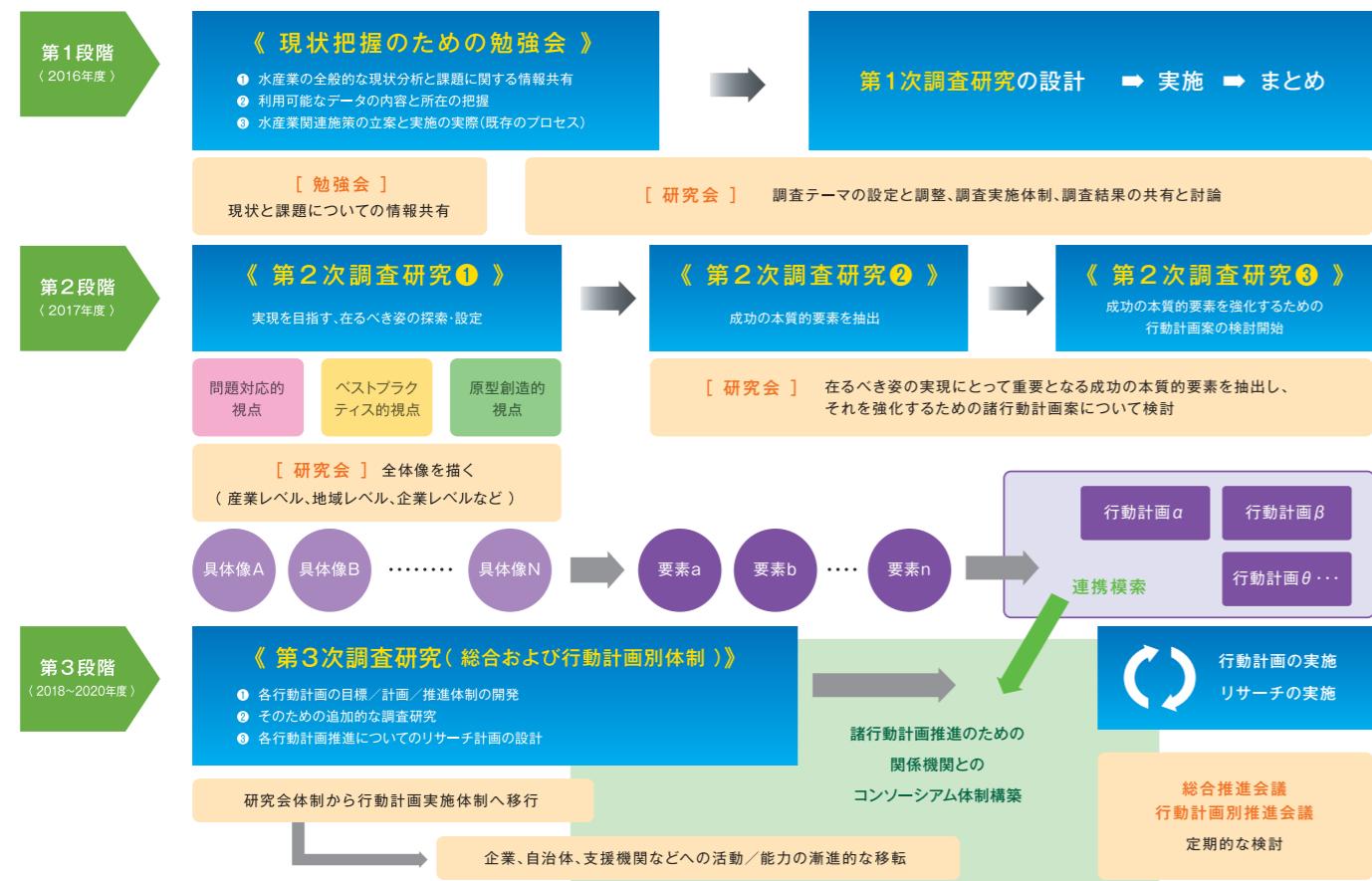
本プロジェクトは、地域社会に大きいインパクトを与えるための調査研究として、2016年度から5年間にわたって東北の水産業(特に水産加工業)のイノベーションに取り組む事業です。東北の主要産業の一つである水産業は1990年代以降急速にその規模を縮小しており、震災によってさらに大きな打撃を受けました。そのため、従来とは異なる水産業の在り方やビジネスモデルの構築などのイノベーションを推進することが喫緊の課題となっています。本プロジェクトの大きな特徴は、実際に地域水産業の変革にとって大きなインパクトを生み出すために実効性の高い戦略と行動を計画実行し、その効果を継続的に検証していくことです。

2016年度には、第1段階として、東北経済産業局、宮城県、岩手県、みやぎ産業振興機構、宮城大学および民間企業などの研究者や実務家たちと共に、東北地域の水産業に関する定量的および定性的な分析によって実態把握と重要課題を明らかにし、その成果を中間報告カンファレンスで発表しました。2017年度には、第2段階として東北水産業加工業の将来像を描きながら、その実現に向けての重要要素を抽出して検討し、行動プログラムの基本方針を設定します。2018年度以降は、第三段階として、具体的な行動プログラムを策定・実施しながら、その結果を踏まえて調査研究を行うアクション・リサーチを行います。

## プロジェクトの活動内容: 2016年度~2020年度(5年間)

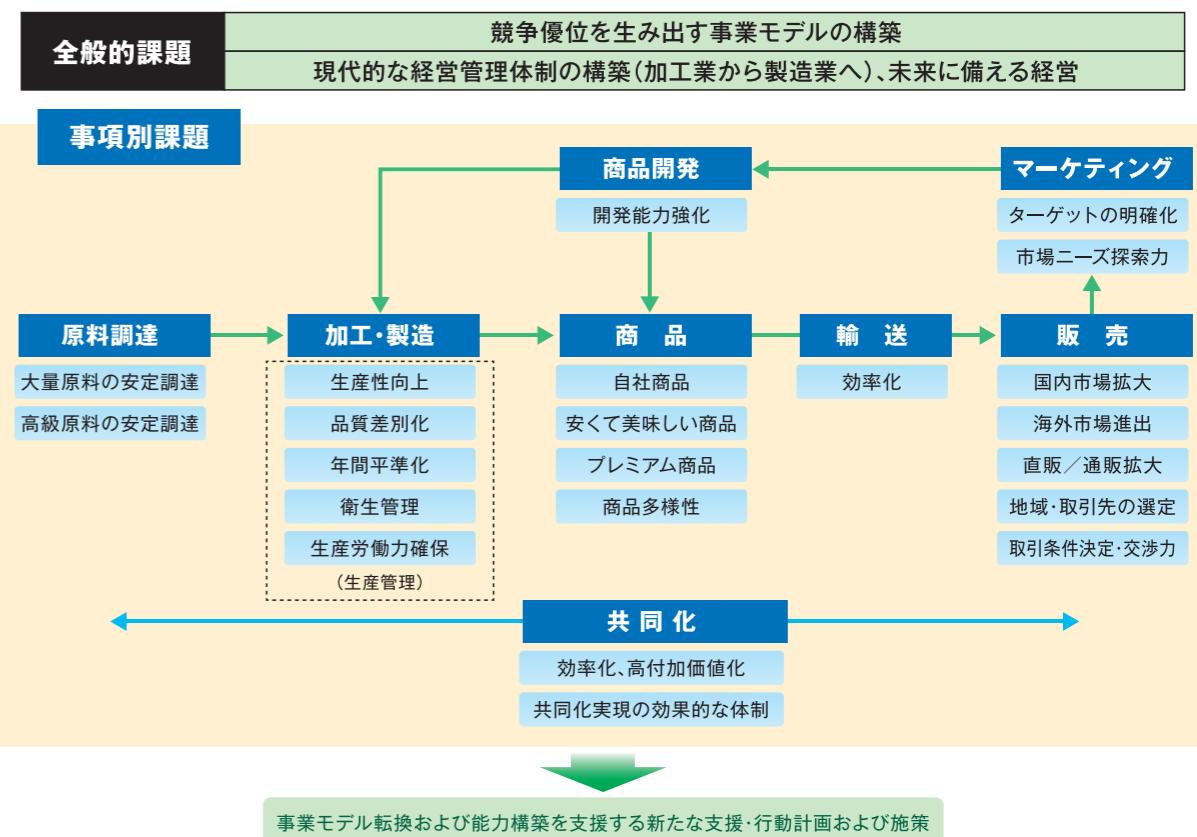
- ① 東北地域の水産業に関する定量的および定性的な分析による全体像の実態把握
- ② 海外も含む地域内外の優れたビジネスモデルや政策の調査分析
- ③ 東北地域での新たなビジネスモデルや政策の実現に向けた課題解決策の立案
- ④ 課題解決策のアクションと検証
- ⑤ 地域創生のモデルとなる方法論の構築

## プロジェクト推進計画の概要



本プロジェクトでは、全国および宮城県内から選定した62社の水産加工メーカーに対するインタビュー調査を実施し、原料調達環境の悪化など急激な経営環境変化に直面してこれらの企業が取り組んできたビジネスモデルの特徴と事業成果および重要課題を把握しました。今後、それを踏まえて、東北水産業の将来像の設定と行動プログラムの開発を行っていきます。

## 経営環境変化による水産加工企業の課題



# ここにしかない 卒塾後の事業化支援まで見据えた 人材育成・新事業創出プログラム

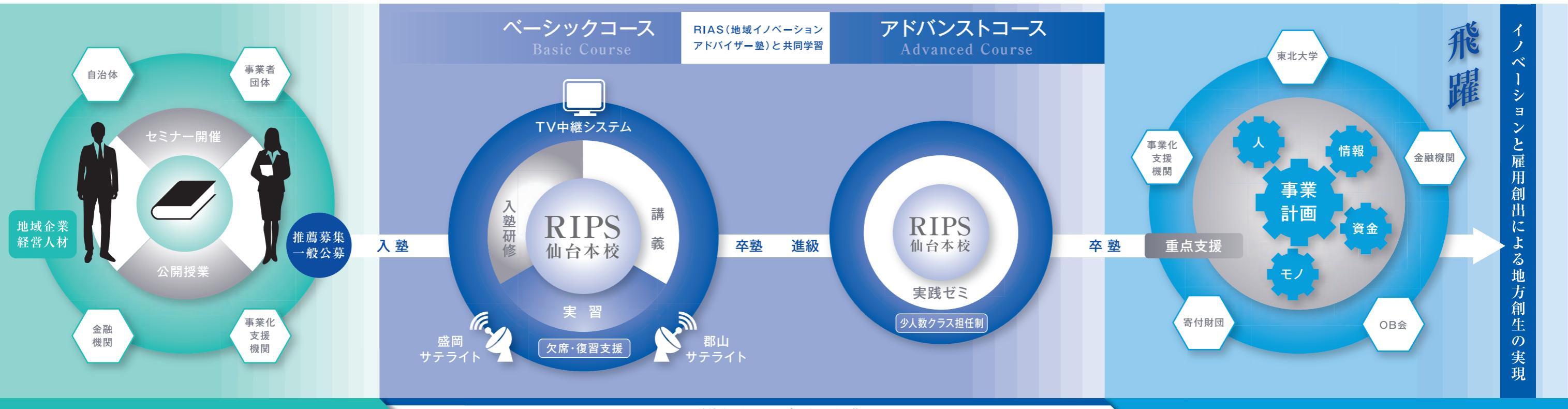
地域イノベーションプロデューサー塾の大きな特長、それは、革新的なプロデューサーを育成するとともに、高い市場創造力をもつ新事業のプランづくりを同時に行うことです。卒塾後3年以内の立ち上げを目指して優秀な事業プランを選定し、事業化サポートまでを行うという、まさに“東北発イノベーションの産室”なのです。

東北から世界へと飛躍しましょう、RIPSとともに！



## カリキュラムの構成

<b>ベーシックコース</b> Basic Course	入塾研修	RIPS OBによる成功事例紹介の後、革新的な事業開発のために本塾が重視する視点を学習し、それらの視点に基づいて塾生の既存事業を振り返ることによって本塾での学習を方向づける。
<b>アドバンストコース</b> Advanced Course	講義	講義と事例を通じて、イノベーションと新事業開発に欠かせない知識、考え方、視点を学習する。
	実習	事業研究を通じて高い市場創造力をもつ新事業のイメージを鮮明にし、演習を通じて実際に魅力的な新事業アイディアの創造を試みる。
	実践ゼミ	事業開発コーチ陣による少人数指導のもと、事業開発プロセスを段階的に進めて事業プランの完成を目指す。また、イノベーション支援者たちと一緒に対話しながら、構想-討論-反省のサイクルを上昇的に形成していく。



## 優秀な塾生の発掘と連携体制構築

### 経営セミナー

東北各地で他機関と連携してRIPSを紹介する経営セミナーを開催します。

### 公開授業

RIPSの一部の授業を一般に公開します。

### 入塾者募集

一般公募とともに、東北各地の事業者団体や金融機関、自治体等と連携して推薦募集を実施します。

### イノベーションの基礎を学び新事業コンセプトを開発します

#### カリキュラム

- イノベーションプロデューサーとしての基礎能力養成
- 新事業アイデア/コンセプトの探索

#### TV中継システム

仙台本校とサテライト(盛岡・郡山)とのリアルタイム映像授業を行います。

#### 学習支援

当センターのホームページに授業映像を掲載し、欠席対策および復習支援を行います。

RIASと共同で学習しながら緊密な交流を図ります

RIAS  
[ 地域イノベーションアドバイザーワーク ]

### 革新的な事業計画を集中的に開発します

#### カリキュラム

事業計画書の作成

#### 指導体制

事業開発コーチ陣による少人数指導

#### RIAS生の支援

RIAS生から情報とアドバイスを受けられます。

### 重点支援

重点支援対象事業を選定して3年間集中的に支援します。  
定期セミナーの開催とコーディネーターによるヒアリングに基づいて、本学および外部支援機関の専門的サポートを提供します。

### 地域イノベーションを牽引する基盤として成長するOB会

研究会活動による卒塾後のフォローアップと相互研鑽会員どうしの事業連携および新事業開発

- 経験デザイン研究会(EDS)
- 事業実践研究会(BPS)



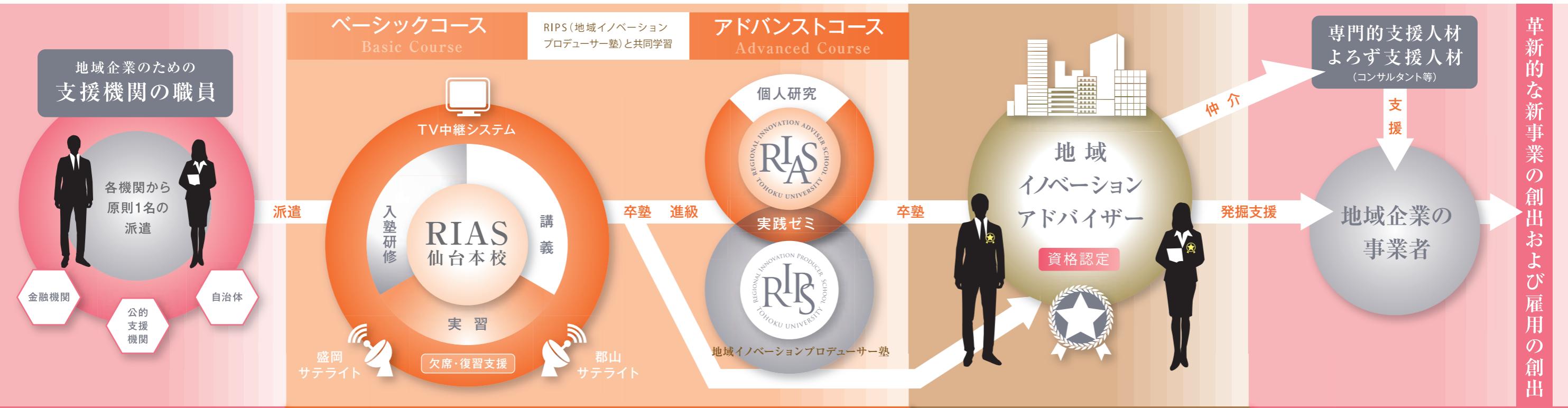


# 地域企業のイノベーションを促進する 高度な目利き力と支援力を有する 支援人材を育成します

- 事業者と一緒に学びながら、真に革新的な事業について理解を深めます
- 事業者たちと討論しながら、支援者として何をすべきかを考えていきます
- 実際の事業開発プロセスを観察しながら、支援実習を行います
- 産学官連携による地域イノベーションシステムの土台を築き上げていきます



	ベーシックコース Basic Course	アドバンストコース Advanced Course										
育成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域産業発展に対する情熱と志をもち、革新的な事業を目利きできる人材</li> <li>● イノベーションに挑戦する事業者を発掘し、事業計画の開発とその実現を支援できる人材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 革新的な事業計画の開発支援、支援事業に合った支援メニューの編成およびコーディネーションを行うことのできる、高度な支援力を有する人材</li> </ul>										
開講期間 授業時間帯	3ヶ月(5月~7月) ● 毎週火曜日 18:30~21:00 ● 隔週土曜日 10:30~17:30	3ヶ月(9月~11月) ● 隔週土曜日 10:30~17:30										
授業を受ける場所	仙台本校(東北大)、盛岡サテライト、郡山サテライト ※開講日ごとに授業が受けられる場所が変わります。	仙台本校(東北大)										
カリキュラム	<table border="1"> <tr> <td>入塾研修</td><td>RIPS OBによる成功事例紹介の後、革新的な事業開発のために本塾が重視する視点を確認することによって本塾での学習を方向づける。</td></tr> <tr> <td>講義</td><td>講義と事例を通じて、イノベーションと新事業開発に欠かせない知識、考え方、視点を学習する。</td></tr> <tr> <td>実習</td><td>事業研究を通じて高い市場創造力をもつ新事業のイメージを鮮明にし、演習を通じて実際に新事業アイデアの創造を試みる。</td></tr> </table>	入塾研修	RIPS OBによる成功事例紹介の後、革新的な事業開発のために本塾が重視する視点を確認することによって本塾での学習を方向づける。	講義	講義と事例を通じて、イノベーションと新事業開発に欠かせない知識、考え方、視点を学習する。	実習	事業研究を通じて高い市場創造力をもつ新事業のイメージを鮮明にし、演習を通じて実際に新事業アイデアの創造を試みる。	<table border="1"> <tr> <td>実践ゼミ</td><td>RIPSの事業者たちと一緒に事業開発について実践による学習を行う。事業者たちが取り組む実際の事業開発プロセスに関わりながら、様々な支援課題を見つけ、自らその課題を解いて事業者たちにフィードバックし討議する形で、支援実習を行う。</td></tr> <tr> <td>個人研究</td><td>各自「イノベーション支援に関する研究計画」に基づいて塾生自らが研究を行い、その成果をレポートとしてまとめる。</td></tr> </table>	実践ゼミ	RIPSの事業者たちと一緒に事業開発について実践による学習を行う。事業者たちが取り組む実際の事業開発プロセスに関わりながら、様々な支援課題を見つけ、自らその課題を解いて事業者たちにフィードバックし討議する形で、支援実習を行う。	個人研究	各自「イノベーション支援に関する研究計画」に基づいて塾生自らが研究を行い、その成果をレポートとしてまとめる。
入塾研修	RIPS OBによる成功事例紹介の後、革新的な事業開発のために本塾が重視する視点を確認することによって本塾での学習を方向づける。											
講義	講義と事例を通じて、イノベーションと新事業開発に欠かせない知識、考え方、視点を学習する。											
実習	事業研究を通じて高い市場創造力をもつ新事業のイメージを鮮明にし、演習を通じて実際に新事業アイデアの創造を試みる。											
実践ゼミ	RIPSの事業者たちと一緒に事業開発について実践による学習を行う。事業者たちが取り組む実際の事業開発プロセスに関わりながら、様々な支援課題を見つけ、自らその課題を解いて事業者たちにフィードバックし討議する形で、支援実習を行う。											
個人研究	各自「イノベーション支援に関する研究計画」に基づいて塾生自らが研究を行い、その成果をレポートとしてまとめる。											



各機関より入塾者派遣

地域イノベーションアドバイザー塾

さまざまな能力で支援します

RIPS(地域イノベーションプロデューサー塾)と  
共同で学習しながら、緊密な交流を図ります

地域イノベーションプロデューサー塾は、地域企業の事業者を対象にして、イノベーションへの挑戦意欲および構想力と実行力をもつイノベーションプロデューサーを育成すると同時に、革新的な事業プランの開発を目指すための塾です。

- ★ 革新的事業の目利き力
- ★ 事業計画づくりの支援
- ★ 専門家とのマッチング
- ★ 事業者の目線で支援
- ★ 情報力とコミュニケーション力
- ★ 地域産業発展への志と情熱

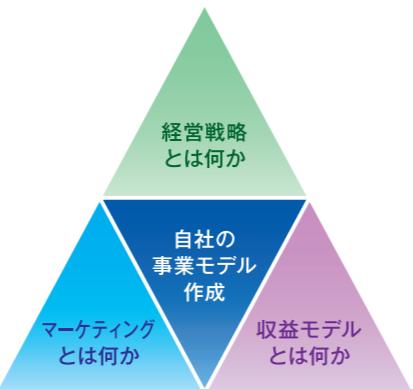


## OB会のビジョン

- 産学官連携による地域イノベーション基盤の構築
- 卒塾後のフォローアップと継続学習
- RIPS 卒塾生と連携してイノベーション事業の創出と支援

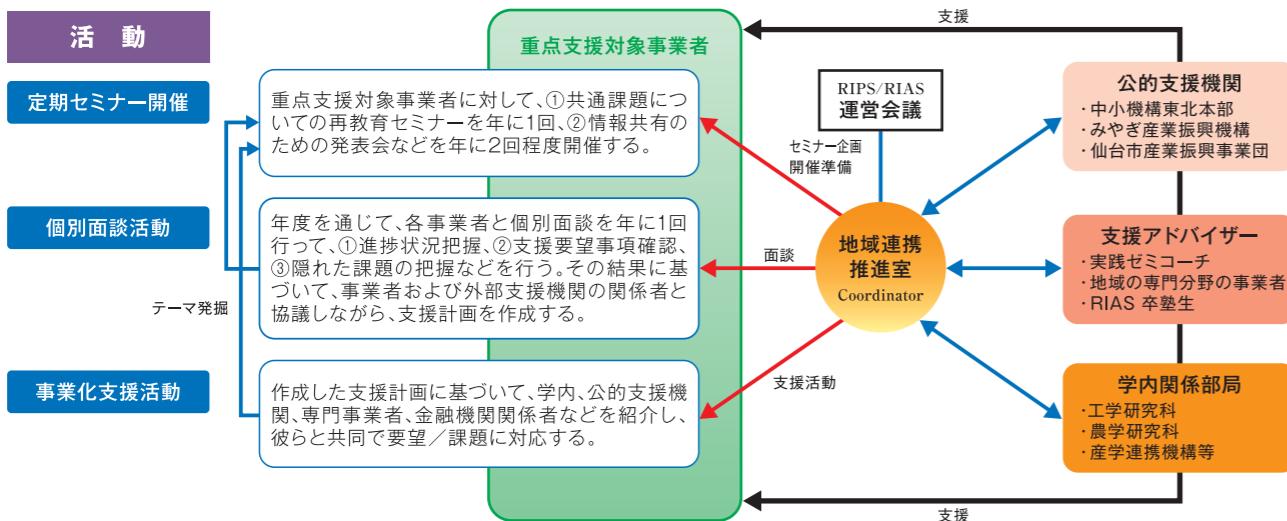
## 地域中小企業の経営者を しっかりサポートできる幹部の育成 右腕幹部養成講座 事業の戦略と計画

多くの中小企業にとって経営者を支える右腕幹部の不足は大きな課題となっています。中小企業が新しい競争優位を構築したりイノベーションを実現していくためには、経営者が推進しようとする構想や計画をしっかり理解し経営者の参謀として計画実行の一翼を担うことのできる右腕幹部の育成が不可欠です。本講座はRIPS卒塾者の企業から派遣された幹部社員を対象にして、彼らを企業の事業戦略の実行を担う右腕幹部として育成するための短期集中講座です。彼らは本講座を通じて、事業戦略やマーケティングの基本を学習し、自社の事業計画を体系的・論理的に理解し具体的な計画の立案に携わるため求められるマインド、知識およびスキルを修得することになります。



## ビジネスプランの実現をサポートする 卒塾後の重点支援

地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS)では毎年、事業プランの成果発表を行って優秀な事業プランを作成した塾生を表彰しています。優秀賞受賞者は、「重点支援対象事業者」として選定され、卒塾後、当該事業プランの事業化に向けて集中的な支援を受けることができます。当センターでは、重点支援活動として定期セミナー開催による継続学習、個別面談による支援ニーズの把握およびそれを踏まえた具体的な事業化支援を行っています。そのために、重点支援を担当する専門コーディネータを配置し、学内および公的支援機関のリソースを積極的に活用しながら、事業化の具体的な成果が生じることを重視した集中的な支援を行っています。



## RIPS/RIAS OB会活動

RIPS, RIASでは、OB会を組織し、卒塾生同士のネットワークの構築、卒塾後の継続学習による相互研鑽、親睦、交流を図るための活動を活発に行ってています。中でも卒塾後の継続学習を促進するため、2つの研究会と事例研究ワークショップ(戦略や組織のマネジメントに関するケースメソッド)を設置して学習を深めています。



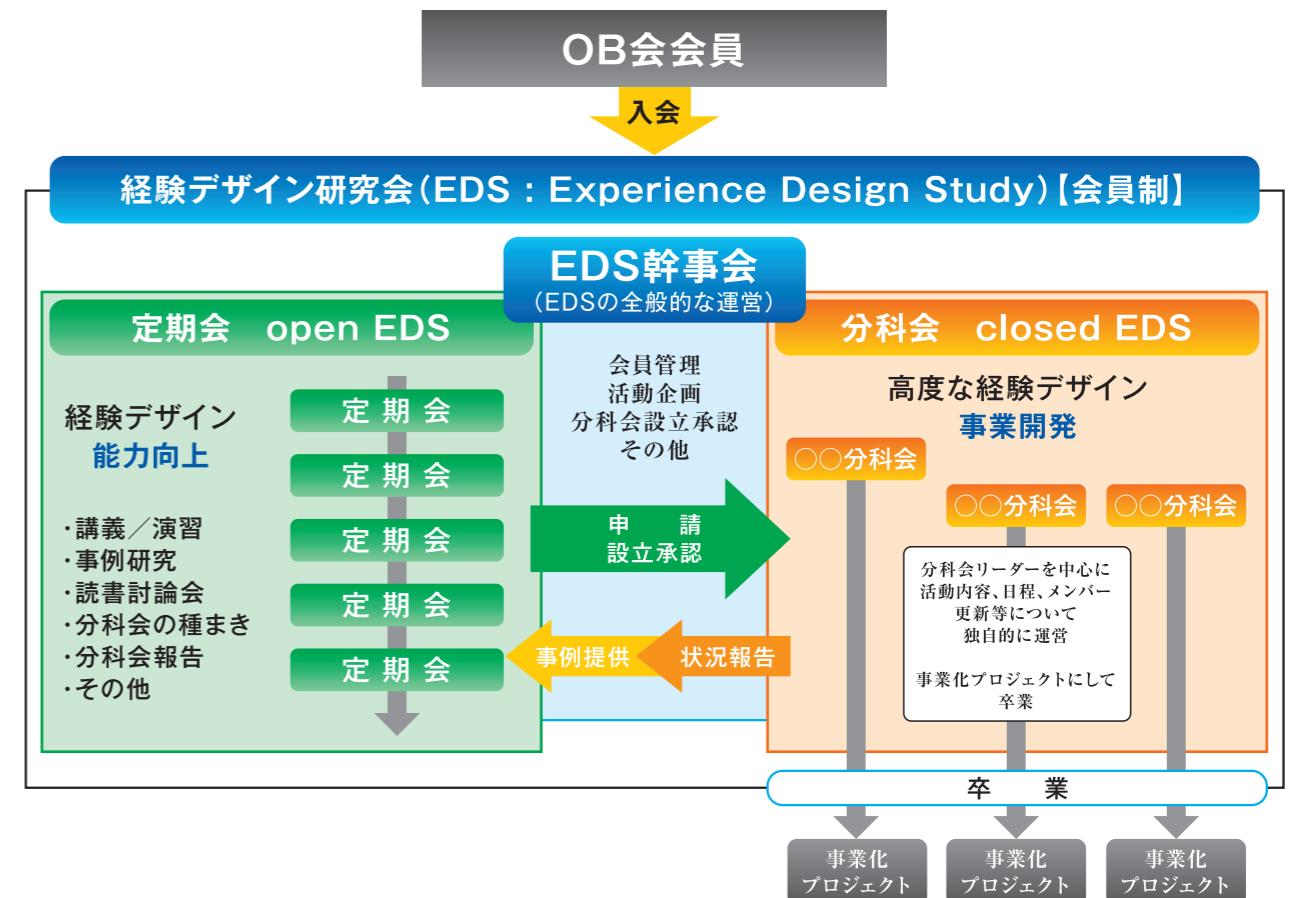
## 事業実践研究会(BPS:Business Practice Study)

BPSは、卒塾生が卒塾時に企画立案した事業計画やそれを含めた自社の事業全体について現状、課題、今後の方向等について発表を行い、それについて参加者から率直な批判意見も含めて、解決策や参考事例について意見をいただき、今後の事業の参考にしようとするものです。

## 経験デザイン研究会(EDS:Experience Design Study)

EDSは、経験デザイン発想に基づいた能力向上および事業開発を推進することを目的に、①経験デザインの能力向上に関する講義・演習等を行う定期会(open EDS)の開催、②具体的なテーマを中心に経験デザインおよび事業開発に取り組む分科会(closed EDS)の開催、③外部に経験デザインを普及するための活動を行っています。

### OB会 経験デザイン研究会(EDS)



当センターは、東北地域における人材育成および産業発展に関する調査研究を力強く推進していくために、地域の多くの自治体、研究機関、事業者団体、金融機関等と連携協力関係を構築しています。特に、2015年度から東北地域におけるイノベーション創出と新たな雇用機会の創出にとって喫緊の課題となっている革新的事業家と高度な目利き力・支援力を有する支援者を一体的に育成していくための地域協力基盤として「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」を立ち上げ、その事務局を運営しています。



<b>宮城県中小企業家同友会</b>	2015年6月、連携協力協定締結。RIPSへの若手経営者の推薦、経営セミナーの実施、同友会大学への講師派遣等の事業を実施。
<b>仙台卸商センター</b>	2016年5月、連携協力協定締結。RIPSへの若手経営者の推薦、経営セミナーの実施、卸団地のあり方についての調査研究等の事業を実施予定。
<b>岩手県盛岡市</b>	2016年1月、連携協力協定締結。RIPS盛岡サテライトの運営協力、地域活性化に関する調査研究、若年経営者の育成等の事業実施を予定。
<b>福島県郡山市</b>	2016年2月、RIPS郡山サテライトの設置、運営に関する市と大学双方の役割を明確化する覚書を締結。郡山地域での若手経営者の育成等の事業の円滑な実施を目指す。
<b>宮城県登米市</b>	2017年3月、RIPS、RIASの運営への協力、登米市及び宮城県北地域の若手経営者の育成等を目指した協定を締結。
<b>花巻信用金庫</b>	2017年1月、①若年経営者および支援者の育成事業 ②地域における革新的事業実現を目指すモデル事業(花巻信用金庫・東北大地域産業活性化モデル事業) ③中小企業の経営改善事業 ④地域活性化に関する調査研究事業等を目指した連携協力協定を締結。
<b>仙台商工会議所(青年部)</b>	毎年定期的にセミナー、交流会を実施するほか、RIPSへの入塾者推薦を実施。
<b>地域の金融機関</b>	日本政策金融公庫、地方銀行、信用金庫、信用組合との共催により、啓発セミナーおよびRIPSへの入塾候補者を発掘すること目的とした経営セミナー等を実施。また、RIASへの職員派遣による支援人材の育成について連携して実施。
<b>国の出先機関、宮城県</b>	東北財務局、東北経済産業局等と連携して経営人材育成、支援人材育成のあり方について検討。また、2015年度よりRIPS、RIAS事業について宮城県の支援を受ける。

### 東北地域イノベーション推進コンソーシアム



2015年8月4日、「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」が設立されました。(会長:藤本雅彦、東北大教授)本コンソーシアムは、RIPS,RIAS事業を効果的に行うため、地域の産学官金が連携して、いわば地域ぐるみで応援する体制を構築するために設立されたものです。会議では、RIPS,RIAS事業の評価、東北地域企業のイノベーションのあり方等について検討しています。

### 花巻信金・東北大地域産業活性化モデル事業



2017年1月に花巻信用金庫と協定を締結し、「花巻信金・東北大地域活性化モデル事業」を行なっています。これは、RIPS,RIASで学んだ卒塾生が、花巻地域において相互に連携しつつイノベーション事業実現に向けて取り組むことを花巻信金、東北大が連携して支援する事業です。これにより、地域における雇用の創出を図り、地域産業の活性化が図られることを実証しようとするものです。

## 片平キャンパスとセンターの施設

### 片平キャンパス



### エクステンション教育研究棟



### 講義室 A



### セミナー室



### 会議室



### 会議室



### 2011年度

- 04 震災復興研究センター設置  
地域産業復興調査研究プロジェクトの発足
- 10 地域産業復興調査研究シンポジウム  
「東日本大震災からの地域経済復興への提言」の開催
- 03 地域イノベーション・シンポジウム  
「挑戦者たちが語る地域発イノベーション」の開催

### 2012年度

- 05 地域イノベーションプロデューサー塾の試行開講
- 07 震災復興企業実態調査を実施(～2015年度)
- 09 関西経済連合会との共同による「関西起業塾」の開催(～2015年度)
- 10 地域産業復興調査研究シンポジウム  
「東北地域の産業・社会の復興と再生への提言」の開催
- 02 シンポジウム「再生可能エネルギーの産業化と東北復興」の開催
- 03 地域発イノベーション・カフェ「東北からの挑戦」の開催
- 03 海外の学会等で震災復興に関する情報発信  
(韓国、フランス、ベルギー、イギリス)

### 2013年度

- 04 花巻市及び会津若松市にRIPSサテライトの設置
- 08 地域イノベーションプロデューサー塾の正式開講
- 11 地域産業復興調査研究シンポジウムin仙台、in東京  
「震災復興政策の検証と新産業創出への提言」の開催
- 02 地域発イノベーション・カフェ「震災からの復興・東北の底力」の開催

### 2014年度

- 05 RIPS OB会が発足し、2つの研究会(EDS・BPS)を設置
- 05 米国ブルデンシャル財団からの事業化資金1億円の助成
- 11 地域産業復興調査研究シンポジウム  
「新しいフェーズを迎える東北復興への提言」の開催
- 02 地域発イノベーション・カフェ「常識への挑戦」の開催
- 03 第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム  
「東北地域における産業・社会の復興」の開催

### 2015年度

- 05 地域イノベーションアドバイザー塾の開講
- 06 宮城県中小企業家同友会と連携協力協定を締結
- 06 社会イノベーター人材育成塾の開催(～2016年度)
- 08 「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」の設立
- 01 地域発イノベーション・カフェ「東北から世界への挑戦」の開催
- 01 盛岡市及び郡山市とRIPS/RIASのサテライト設置に関する連携協力協定締結
- 03 地域産業復興調査研究シンポジウム「震災復興は東北をどう変えたか」の開催

### 2016年度

- 05 東北発水産業イノベーションプロジェクトの発足
- 05 協同組合仙台卸商センターと連携協力協定を締結
- 07 RIAS OB会の発足
- 01 花巻信用金庫と連携協力協定を締結、モデル事業を開始
- 03 登米市と連携協力協定を締結
- 03 東北発水産業イノベーションプロジェクト中間報告カンファレンスの開催

### 2017年度

- 09 右腕幹部養成講座の開講



**照井 伸彦** 経済学研究科長

地域イノベーション研究センター( RIRC )  
運営委員会

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| <b>◎ 藤本雅彦</b> | RIRCセンター長<br>経済学研究科 教授     |
| <b>増田聰</b>    | 震災復興研究センター長<br>経済学研究科 教授   |
| <b>権奇哲</b>    | RIRC総括プロデューサー<br>経済学研究科 教授 |
| <b>大滝精一</b>   | 経済学研究科 教授                  |
| <b>柴田友厚</b>   | 経済学研究科 教授                  |
| <b>西出優子</b>   | 経済学研究科 教授                  |
| <b>高浦康有</b>   | 経済学研究科 准教授                 |

◎:委員長

RIPS実践ゼミクラス担任

- |              |                |
|--------------|----------------|
| <b>高橋利春</b>  | RIRC 特任准教授(客員) |
| <b>上條太郎</b>  | RIRC 特任准教授(客員) |
| <b>及川哲也</b>  | RIRC 特任准教授(客員) |
| <b>藤井辰紀</b>  | RIRC 特任准教授(客員) |
| <b>佐々木美織</b> | RIRC 特任准教授(客員) |

### 【運営スタッフ】

**藤本 雅彦**

RIRCセンター長  
地域イノベーションプロデューサー塾・塾長  
地域イノベーションアドバイザー塾・塾長  
経済学研究科・教授

**増田 聰**

震災復興研究センター・センター長  
経済学研究科・教授

**権 奇哲**

RIRC総括プロデューサー<sup>◎</sup>  
地域の人材育成事業統括  
経済学研究科・教授

**富澤 辰治**

RIRC地域連携推進室長

**八重嶋 征夫**

RIRC地域連携コーディネーター

**池谷 昌之**

RIRC特任教授(客員)  
地域イノベーションプロデューサー塾・  
プロモーター/実践ゼミファシリテーター

**倉田 美子**

RIRC事務室長